



京都の師走の風物詩 花街総見&襲名披露

師走の京都を飾る南座の「顔見世興行」。今年もまたそんな季節が巡ってきます。顔見世歌舞伎は歌舞伎において最も伝統ある興行。江戸時代に役者の専属契約が毎年秋に更新され、劇場ごとに新しい座組みをお披露目するために催されたことに始まり。江戸と上方の名優が競演する贅沢な舞台。特に、芸舞妓総見の日は両棧敷席に花街の綺麗どころがずらりと居並び客席に華を添えます。舞台の勇姿と客席の艶姿。日本の素敵がダブルで楽しめるまたとないひとときなのです。今年はそのへ八代目尾上菊五郎襲名披露と六代目尾上菊之助襲名披露が重なるという、歌舞伎好きにはたまらない舞台。東西名優による顔見世&京都花街の芸舞妓総見&菊五郎・菊之助の襲名披露。目出度さが三重に積まれた希有の舞台であります。必見必聴。八代目となる菊五郎は江戸時代こそ、のたかた三百年以上も歌舞伎を代表する大名跡。その初代は京の生まれ。両棧敷を花街の綺麗どころが埋めつくす中を江戸の大名跡と上方の名優が競演する贅沢。日本の素敵が三段重ねでみなさまをお迎えする今年の興行はまさにめくるめくひとときなのです。もちろんお席は入手困難、例年以上の争奪戦は必至。歌舞伎鑑賞後は祇園の御茶屋のお座敷に席を移し、総見を終えた芸舞妓を座敷に呼んで、最高峰の京料理と美味しいお酒を心ゆくまで堪能いただきます。今年もまた、一年納めのお楽しみ。京都南座、當る午歳・吉例顔見世興行・東西合同大歌舞伎・尾上菊五郎&菊之助襲名披露、花街総見の芝居見物と祇園茶屋での旨飯旨酒。芸妓舞妓による唄と舞いも合わせて師走の古都を存分にお楽しみいただきますよう。みなさまの早いお申し込みをお待ち申し上げます。

○日時 令和7年12月3日(水) 10時00分より～20時00分頃終宴予定

○会場 京都四條・南座〔東山区四條大橋東詰〕～京都祇園のお茶屋

○次第 10時00分・南座前で受付開始～10時30分・特等席にて「吉例顔見世歌舞伎」昼の部鑑賞～幕間に特製弁当の昼食～終演後・祇園自由散策を経て祇園のお茶屋へ～17時00分・お茶屋にて京料理と芸妓舞妓との宴～20時00分頃・終宴～現地にて解散

○定員 20名〔参加定員は変更になる場合があります。最少催行人数12名〕

○参加費 150,000円〔おひとりさま・南座顔見世歌舞伎鑑賞/幕間弁当/お茶屋でのお食事/芸妓舞妓の余興/お土産〕
※お茶屋でのお飲み物代は個別精算にて別途頂戴いたします。